



資料館だより

NO.60
2017年
5月号

過去と未来がひびきあう

—ようこそ、エコミューズへ。

www.aozora.or.jp/shiryou/

あおぞら
財団付属

西淀川・公害と環境資料館

エコミューズ

● 新しい西淀川のフィールドワークマップが完成しました ●

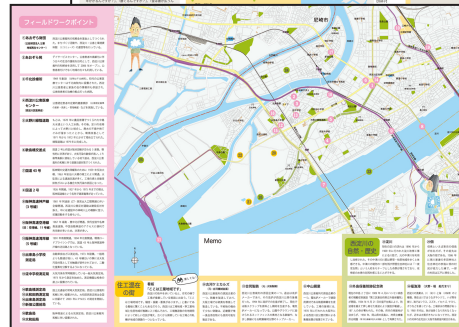
エコミューズでは、年間400人ほどの研修受け入れを行っています。その時に活躍するのが「地図」です。特にフィールドワークでは、地図は必需品で、西淀川のどこを歩いているかを知るためになくてはならないものです。

これまで使用してきた地図は、2004年に日本市民スポーツ連盟・大阪府歩け歩け協会・あおぞら財団が協力して作成したウォーキングマップで、「西淀川区の史跡探訪」と「公害の歴史と環境再生の足跡を訪ねて」の二種類がありました。当時は、エコミューズもオープンしておらず、研修事業も表立って実施して

いませんでした。ついつい、ウォーキングマップを研修用のマップとして代用してしまい、そのまま10年もたってしまったのです。

10年もたち、書かれていない情報も増えてきました。訪問頻度が高いサービスセンターのあおぞら苑（西淀川公害裁判の和解金でつくられた施設）もマップに書かれていないことから、思い切ってフィールドワークマップを刷新することになりました。

今度の地図は、西淀川公害の歴史と地理的な位置が分かるようにしていること、西淀川のフィールドワークから学んでほしいポイントを明らかにしました。また、尼崎方面をめぐるバスによるフィールドワークに対応できるように地図範囲を広くした点も改善点です。1部500円になりますので、ぜひお手に取ってください。（林美帆）



表

裏

いよいよお披露目！「手渡したいのは青い空」住民が動いた街・西淀川の経験から学ぶ ～教材モニター募集～



フォトランゲージ

こんな教材があります！

【地球環境基金助成事業】

- 西淀川公害フォトランゲージ
西淀川公害に関する写真をみながら話し合う教材です。（対象：小学校～）
- ワークシート「照代の物語」を使って～連想図
公害患者の物語を読んで、どんなことが起きたか想像し、連想図を書きながら公害被害の社会構造を考えます。（対象：小学校高学年～）
- ロールプレイ「203X年、あなたの町で公害がおきたら」
町に住む様々な立場の役になりきって話し合う、簡単なお芝居をする教材です。（対象：小学校高学年～）
- シミュレーション教材「住民が動いたまち—西淀川の経験から考える市民力」
大気汚染公害がひどかった頃の西淀川に実際に住んでいた人たちをモデルに開発した教材です。5人の住民とその家族の経験を追体験します。（対象：高校生～。小学校高学年～対象の簡易カードバージョンもあります）